

昭和六十年度現代宗教研究所事業報告

1、第十八回中央教化研究会議開催（本誌掲載）

期 日 昭和六十年九月四日（水）・五日（木）

会 場 東京都池上本門寺・朗峰会館

開催趣旨 (1)宗徒（僧俗）一体の「お題目総弘通

運動」について理解しあい、この運動をどのように推進していくべきかを話しあおう。

(2)信行会づくりと信行会の活動を充実

させるために、「だれにでもできる信行会」「だれにでもとりくめる信行会活動」について話しあおう。

統一テーマ —— 生き生きとした信行会づくりを通して、お題目の輪をひろげる運動に、

みんなでとりくもう——

会議形式 1 全体会議

基礎報告 石川教張師（現宗研主

任）「宗徒一体のお題目総弘通運動と信行会活動」

2 分散会（体験発表「私のとりくんでいる信行会活動」と討議）討議のポイント

①この一年間、どんな信行会活動をしましたか。

②社会の人は今、お寺に何を求めていると思いますか。

③信行会活動を蘇生させる妙案は何だと思いますか。

④家庭や社会に於ける信行生活をどう指導していますか。

⑤信行の仲間づくりにどうとりくんでいますか。

⑥信行会について寺院間の協力をどう

のように推進していますか。

⑦ 本宗のお題目と新興宗教のお題目の違いをどう説いていますか。

⑧ お題目の意味と功德をどう説いていますか。

⑨ 二十一世紀に向かう本宗教師の使命は何だと思えますか。

⑩ お題目の輪をひろげる運動をみんなで考えよう。

2、教区・地域教化研究会議開催

十教区にて開催した。開催期日・テーマは次の通りである。

(イ) 第七回九州教区教化研究会議

六月十一・十二日 於長崎市稲佐山観光ホテル

総合テーマ「お題目総弘通運動への取組み方について語り合おう」

分散会テーマ「信行会活動の中でお題目修行をどう指導していますか」

「信行会活動に関するお寺間の協力をどのように推進して

いますか」

「信行会活動に関するお寺間の協力をどのように推進して

(ロ) 第九回中四国教区教化研究会議

六月十一・十二日 於香川県高松市オークラホテ

ル高松

統一テーマ——信行会づくりと生き生きした信

行会活動をめざして——

「立正安国の祖願を弘め現代に生きる

信行会づくり」

「停滞マンネリを打破して生き生きした信行会づくり」

「宗徒総弘通の使命を担って一か寺一信行会づくり」

「

(ハ) 第十五回近畿教区教化研究会議

六月二十七日 於兵庫県西宮市浄願寺

テーマ「お題目総弘通運動の展開——宗徒意

識の高揚につとめよう——」

分科会テーマ 「信行会作りとその活性化を計ろう」

「お題目の意義と功德を明らかにしよう」「立正安国の教えを弘める信行活動

に取組もう」

(二) 第九回北海道教区教化研究会議

八月二十三日 於函館市実行寺

テーマ「お題目の輪を広げる運動——信行会

活動——」

分科会テーマは第十八回中央教化研究

会議討議のポイントに沿う。

(ホ) 第十一回京浜教区教化研究会議

十月三十日 於神奈川県横浜市菊名妙蓮寺

テーマ「都市及び都市化地域におけるお題目

総弘通運動のあり方」

分科会は、既存の組織の活性化、

信行組織の進め方と作り方、新興宗

教の対策、寺院・教師間の布教協力

の進め方、お題目総弘通運動の取組

みをポイントに討議した。

(ハ) 第二回北陸教区教化研究会議

十一月六日 於新潟市本覚寺

テーマ「今、布教伝道にとり組んで——北陸

日蓮宗寺院の現状と将来を考える」

お題目を唱えひろめるために、今、

何をなすべきか、何にとりくむかを討

議した。

(ト) 第四回東北教区教化研究会議

十一月二十一・二十二日 於岩手県大沢温泉山水

閣

テーマ「生き生きとした信行会づくりを通し

て、お題目の輪をひろげる運動に、み

んなでとりくもう」

第十八回中央教研の討議ポイントを分科会で討議

した。

(チ) 第十回山静教区静岡県教化研究会議

十一月二十六日 於浜松市妙恩寺

テーマ「お題目の輪をひろげる運動を、みん

なで考えよう」

家庭における信行生活をどう指導するか、信仰の仲間づくりにどうとりくむか、社会の人は、今、お寺に何を求めているかを分散討議テーマとした。

(リ) 第九回中部教区教化研究会議

昭和六十一年三月十日 於愛知県一宮市一宮スポーツ文化センター

テーマ 「お題目の総弘通」

討議ポイント 信仰の仲間づくり(信仰会活性化)

への取組み方」本宗のお題目と新興

宗教のお題目の違い」

(ヌ) 第三回関東教区千葉県教化研究会議

昭和六十一年三月二十八日 千葉県

(ル) 第二回関東教区北関東教化研究会議

昭和六十一年三月二十八日 群馬県

3、研究・調査活動

〈研究 究〉

① 研究講座・教化学研究集会の開催

五月、研究講座並びに第六回教化学研究集会を宗務院にて開催した(本誌に掲載)。発表は次の通りである。

研究講座

宗教の自由と宗教法入法……………中濃 教篤

第六回教化学研究発表

私のお題目弘通体験……………石井 鍊昭

私のお題目弘通体験……………菊池 泰瑞

高齢化社会と日蓮宗教化……………大島 啓禎

第五回教化学研究集会(昭和六十年三月、大阪市雲雷寺にて開く)

にて開く)

信仰会の活性化をめざして……………牛居 一教

修法布教私見……………神谷 行精

地域社会とのかかわりあいを求めて……………竹内 祥起

兵庫西部社会教化事業協会が取り組んでいる現状……………大岩 祥峰

……………大岩 祥峰

過疎地域における布教……………有村 友伸

三月、第七回教化学研究集会を大阪市雲雷寺にて開く。

② 研究例会

「現代社会の諸問題と日蓮宗教化」を共通テーマとし、研究員が各分担にて資料収集および研究に取り組んだ。テーマ・発表者は次の通り。

題目系新興宗教と日蓮宗教化（石川教張）

高齢化社会と日蓮宗教化（大島啓禎）

安楽死問題と日蓮宗教化（古河良皓）

核問題と日蓮宗教化（伊藤立教）

都市化現象の中の寺檀関係と日蓮宗教化（久住謙

是）

環境問題と日蓮宗教化（常岡裕道・神蔵義孝）

家族・家庭問題と日蓮宗教化（蓮見高純）

心の病と日蓮宗教化（渡部公容）

新・新興宗教と日蓮宗教化（植田観樹・片野博義）

③日蓮聖人・日蓮教団研究雑誌論集目録（明治元年〜昭和六十年）を作成した。所蔵図書目録作成のため資料を収集、分類、保管した。

④各種伝道教化研究に関する資料を収集し、保管した。

⑤新興宗教（特に佼成会・霊友会）の資料収集を行った。

⑥お題目についてのご遺文要文集作成のため、遺文資料を収集、分類した。

⑦教団史研究資料として、影山堯雄編『日蓮宗年表』を補訂、原稿化を完了した。

⑧各種資料より「昭和六十年次日蓮宗年表」を作成、配付し、「教化の友」編集に協力した。

〈調査〉

①過疎地域寺院の実態調査の実施

九月、離島布教の現況把握もかねて北海道利尻島・礼文島の寺院、十一月、京都二部管区丹後寺院、三月、新潟県佐渡寺院の現況を調査した。二月、岩手県寺院予備調査を行った。また、北海道法華村についての資料を収集した。千葉県東部・西部寺院調査についてまとめ報告した（本誌に掲載）。

②千葉県養安寺檀林跡を調査し、関係史料を若干収集した。また、法華宗本門派檀林（学林）・仏立宗の学林との交流を図り、檀林資料を収集した。

③総合企画部の委嘱により、「宗勢調査報告書」の作成作業を行った。

4、その他の活動

- ① 現宗研主催にて仏教各派教化関係研究所交流会議を開き、現代教化の諸問題や在り方・進め方などの意見・研究・情報交換を行い、研究所間の交流を図り、各宗派教団の教化資料を保管した。
- ② 現代社会の諸問題についての資料・文献を収集、広く教化資料を収集・保管し、中央教化センター機能の充実を図った。
- ③ お題目総弘通運動実施プランについて、院内各部・研究員間で意見交換、内容の検討を重ねた。
- ④ 「現代宗教研究」〈特集・宗門運動四十年の総括〉第二十号を編集し全寺院に配布した。
- ⑤ 顧問会議・嘱託会議・研究員会議を開いた。